



家廟遺墨

大父先考先妣
伯兄遺墨

第四

600
129

右ノ用之金也

一合

右ノ用之金也

右ノ用之金也

右ノ用之金也

右ノ用之金也

一合

右ノ用之金也

右ノ用之金也

一合

右ノ用之金也

右ノ用之金也

一合

右ノ用之金也

右ノ用之金也

右ノ用之金也

右ノ用之金也

解梅... 先考四十歳の筆

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

先考... 三月廿六日

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

一合

残金或或分中
八百之積也

解梅とてこの筆録は明和元年
先考四十歳の筆也

解云下子亥十二月とあり
是ハ明和四年 先考四十
三歳の筆也十八この年六月
九日を生れり

解云これハ先考三十六歳の筆也この年十二月十九日
大又淨頼君下世とあり

十石と云ふは
御高及以知
能方別
...

三

一全之積也
右云云
...

亥
十二月廿七日流石

兼書

差

一高千六百石

但洋船高也高天加段分新田

以高段合

他 後友
常是
地 高古石
...

介
守社殿家流

右云云
荒川通
...

享壽十年

松平鴻五郎

大寺新様

御高定

亥右

宝曆十年十月

松平鴻立御下

御勘定取

亥右

西段合目

覺

一 子六回拾巻在七申宗

武蔵土場御勘
二ヶ村

但津領より込りて改書新田書付

付之役合目被下共九卷七毛

但後坂色
常色

一 振上共七ヶ村合目色申年分
但右在御勘定外合目色
八指少共九卷七毛 丙申年分
但右在御勘定外合目色

外

御朱印寺社領之書付

右表書申去酉年恩廻川利根川白河川
御書付身武蔵國之役合書由通知村々
江之く和納申上

明和三年十月

御勘定
松平鴻立御下
堀巻九郎平

兼沢殿十兩換
布施_不布_不布_不
依_不代_不中

先妣貞正君

天明年四月羅文君五若日幸治の
状より四十八歳公筆之の年二月
廿七日卒す也此紙悲しく候

二枚名前の前年天明四年初冬の舞書之紙
羅文君の主君戸田徳州子領せられ甲府に在り

先妣貞正君
天明年四月羅文君五若日幸治の
状より四十八歳公筆之の年二月
廿七日卒す也此紙悲しく候

二枚名前の前年天明四年初冬の舞書之紙
羅文君の主君戸田徳州子領せられ甲府に在り

先妣惠正君 吉尾氏 墨跡五通

天明五年 羅文君 吉尾氏 筆 廿七年六月

春 此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

天明四年 初冬の 郵書 吉尾氏 筆 甲府 在り

今 此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

此の 墨跡

Handwritten text in cursive script, likely a musical score or a list of notes, written on a separate piece of paper pasted onto the left side of the page.

Handwritten title or section header in cursive script, positioned vertically in the center of the page.

Handwritten text in cursive script, continuing the musical score or notes from the top section, written on the main page.

Handwritten text in cursive script, continuing the musical score or notes from the bottom section, written on the main page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on aged paper. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in cursive script, located in the bottom left corner of the page.

Handwritten text in cursive script, located in the bottom right section of the page. It includes a large, stylized signature or name.

Handwritten text on the left side of the top page.

Main body of handwritten text on the top page, consisting of approximately 15 lines of cursive script.

Main body of handwritten text on the bottom page, consisting of approximately 15 lines of cursive script.

先考正君筆錄

先考正君筆錄 通

三

其州德和郡地生武多母村明野村
り村約右二村

右京村平路女部之村

一 武多千二百畝九石中四畝

佃地高九

武多村

武多千二百畝九石中四畝

一 武多千二百畝九石中四畝

佃地高九

武多村

武多千二百畝九石中四畝

武多村

一 武多千二百畝九石中四畝

佃地高九

武多村

武多千二百畝九石中四畝

武多村

武多千二百畝九石中四畝

佃地高九

武多村

武多千二百畝九石中四畝

武多村

伯兄羅文君 禱興百 墨蹟

武家法法度

一文武忠孝之廟 一不心礼後事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

附 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

一 音信指言婚嫁之禮式或答書或
家内も言外未だ外ありて月後約
あるべき事
私に書事

右條に於て相守者也

天明七年九月十日

編年 二十九通聊 雌黄をりて注之 父祖の遺墨を
汚さず似て思孫のまゝを釋んとして其地日又如舊
を授けり獲るるを復この下子貶をへりて其
白帛を添ふり予り政文の如くも下子貶をへりて其
疎拙なりと思ふに稱はれぬありて其地日又如舊
を授けり獲るるを復この下子貶をへりて其

續升二十九通聊 雖黃子之注之 父祖の遺墨を
 汚さず 似非と思孫のまゝひを釋んとして 地日又知 遂
 を擧ぐる 獲るるを 復この下子 貼をへし 下子 更
 白帛を 活より 予が 政文の 下子 阿る 更なる 粘工
 疎拙なり 思ふに 稱の 後と あり 貼し 更なる
 幸なる 於て 親族の かるを 遺墨を 更なる 人
 吾由 宜 秘藏 せよ

文政六年癸未春二月九日

瀧澤解滢藏

琴山嶺遺墨 最頁天保六年乙未秋閏七月追加

琴山嶺 詳良經 瀧澤宗伯 文章遺墨

文化十年宗伯十六歳 師神田 池田 長和 許 田 久 等 文
 當時の 副奉 手本 ぬる 引出 され 遺墨 更なる 貼し

凡天下事 取相類而非者 衆矣 然能辨之者 寡矣 夫
 紫之類 朱魯聖之所惡也 茂夫之類 玉魏文之所懼
 也 凶莠之幼也 似木蠶牛之黃也 似虎其辨何容易
 也 鑿之於疾病 亦應如此 耳若彼傷寒 與脚氣相類
 而有分途 無不知之者 然未嘗有究其淵源者 余一
 日侍於 陽谷先生 而問之 先生 喟然曰 善哉 小
 子 汝有見于 此邪 今吾語汝 大約 脈浮數 而發熱 灑
 淅惡寒 而舌心冷者 脚氣也 自古迄 今未有發明者
 徒以治傷寒之劑 投之 故 忽衝心 至死者 為不數矣
 豈不哀哉 汝年才 猶少 而有 誓古之志 勉諸後 必有
 成焉 吾既老矣 唯 患 秘訣之無傳 不憶 今得其人 吾
 喜可知也 語曰 道聽而塗說 德之棄也 今日之談 輕
 勿洩之 余 避席 誓首 再拜曰 惟命 不敢聽 耶 惟命 不
 敢聽 耶 興 繼不肖 固暗於 自見 董帷 雖勉 獨自不能
 問 雲霧 而視 天日 倘 繇先生 寵靈 有 就業於 方伎 則
 幸甚 鴻恩 德誼 何以報之 余不堪 感 謝 錄以 備遺忘
 皆 文化十年 癸酉 秋八月 瀧澤 興 繼 謹記

琴山嶺遺墨方抄録遺墨

是より下 最頁天保六年乙未秋閏七月追加 則使 經師 萬吉 貼焉
 予を宗伯の 壯年の 筆の 抄録 何れの方 書るや 未考
 留子 騰高の本の 後 録す

開雲霧而視天日... 幸甚鳴恩德... 昔文化十年癸酉秋八月瀧澤興繼謹記

是方下最頁天保六年乙未秋七月追加則使經師萬吉貼焉

琴山領藥方抄録 送星

予を宗伯の壯年の筆之抄録存心の方書るや未考... 習子騰瀉の本の疾録を...

傷寒附感日

桂枝湯 大陽中風陽浮而陰弱陽浮者發自... 鳴風者主之

桂芍三味 桂芍三味

麻黃湯 大陽證脈浮緊頭及身體... 疼痛惡寒發熱無汗而喘

麻桂三味 麻桂三味

大青龍湯 大陽中風脈浮身無汗煩... 者不可服

麻六桂三味 麻六桂三味

小青龙湯 大陽傷寒脈浮身不痛但... 咳逆或喘或渴或利

麻桂芍三味 麻桂芍三味

五苓散 大陽中風發熱六七日不解... 小便不利

猪浮木茯苓桂五 猪浮木茯苓桂五

桃仁承氣湯 治熱邪傳裡熱在胸膈... 腹滿痛身自汗黃譫語燥渴

虎骨桃桂三味 虎骨桃桂三味

葛根湯 大陽陽明無汗惡風發熱惡寒... 脈尺寸但二脈浮者

大承氣湯 陽明腑證大陽陽明アリ正... 氣急下利

小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

小承氣湯 治陽明無表證汗後不惡寒... 潮熱

虎骨朴枳三味 虎骨朴枳三味

調胃承氣湯 治大陽陽明不惡寒反惡... 譫語

虎骨甘三味 虎骨甘三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

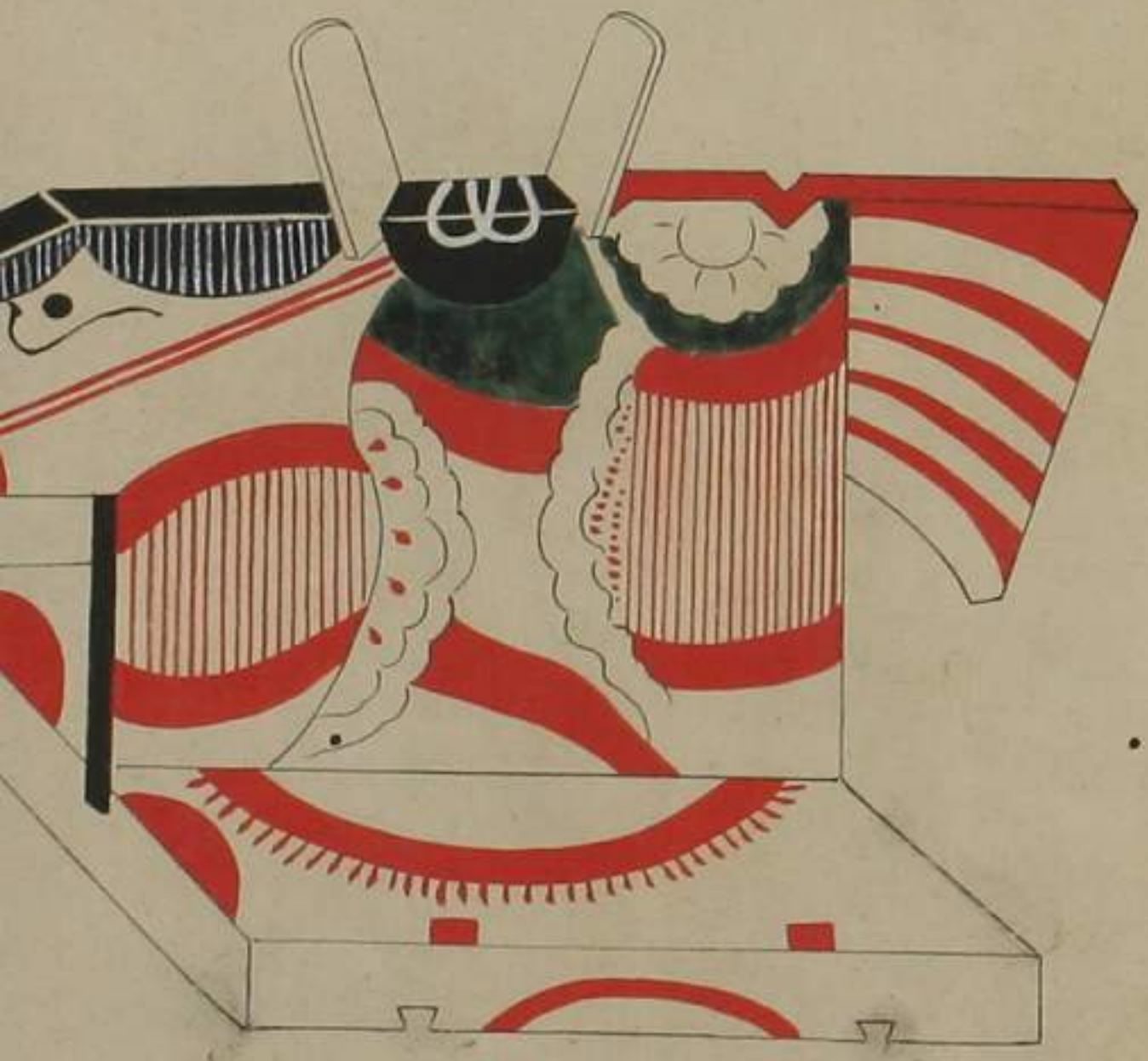
小柴胡湯 治傷寒二三日脈弦而... 嘔吐下利

柴胡芍三味 柴胡芍三味

大柴胡湯 大陽之病過經餘日及三日... 下利

琴山領臨高の木馬

天保四年... 此木村... 折琴... 此の木馬...



服之欲愈

虎四桃桂二分特

血證小腹痛急結上衝三寸或脈數喘渴小便頻數手足厥冷塊如丸物見者當血也此乃湯水好也

葛根湯大陽陽明無汗惡風發熱惡寒脈尺寸俱長寸有絳寸裏有汗脈又中風能食傷寒食之不能食自汗脈緩者桂枝湯也汗脈浮者麻黃湯也小汗脈證漸見七潮製脈浮者又短長脈病大

小柴胡湯用之表裏邪分提之頭項強

葛四麻三桂芍二分特

大陽陽明合病八公

大承氣湯陽明府證大陽陽明アリ正下利此方主之

琴山鎮臨高の木馬

此木馬... 折長今鎮子... 此の木馬の... 此の木馬の...



琴山鎮臨高

琴山鎮臨高宗伯遠墨

此木馬... 此の木馬の... 此の木馬の...

枳殼 芍藥 甘草 麻黃
杏仁 葛根 升麻 柴胡
黃芩 人參 半夏 大棗
枳實 知母 石膏 細辛
乾姜 口味 厚朴 芒硝
桃仁 蘆薈 瓜蒂 甘遂
麥冬 枳子 麥門
酸棗 竹茹 陳皮 茯苓
香附 枳殼 貝母 枳殼
蘇子 桑白 木香 白芥
烏梅 猪苓 茯苓 阿膠
滑石 前胡 獨活 細辛
防風 川芎 白芷 天麻

益智 芫花 蘇梗 良姜
茴香 延胡 蘿蔔 旋覆
薏苡 沈香 細辛 葶藶
馬兜 青木 皂角 常山
黑丑 川烏 五靈 海金
龍葵 地榆 槐花 艾葉
吳茱 枳葉 石解 枳葉
檀香 廣茂 澄茄 破骨
牽牛 續斷 蒴藋 商陸
赤豆 澤漆 郁李仁 射干
乾漆 乳香 沒藥 李根
豆豉 小蘗 淡豆豉 鹿茸
天雄 肉蓯 龜版 青蒿



奉安馬守

琴嶺龍澤宗伯遠墨

此年文政の年比茶葉買(茶名)此は必用の物を抄出せし
 上と宗伯の書字の引出ありて没展にせしと云ふ也

枳殼	芍藥	甘草	麻黃	杏仁	葛根	升麻	柴胡	麥冬	人參	半夏	大棗	枳實	知母	石膏	細辛	乾姜	厚朴	芒硝	桃仁	蘆薈	瓜蒂	甘遂	麥門	酸棗	竹茹	陳皮	茯苓	香附	核硬	貝母	枳殼	蘇子	赤白	木香	白芥	烏梅	猪苓	沢瀉	阿膠	滑石	前胡	獨活	細辛	防風	川芎	白芷	天麻	附子	白木	地黃	當歸	龍膽	羌活	茵陳	木通	苦參	紅花	牡丹	烏藥	生薑	南星	天麻	山查	神麴	麥芽	草果	防己	遠志	連翹	通草	藜蘆	蘇葉	木瓜	香薷	檀香	腹皮	石膏	荆芥	牛蒡	玄參	地骨	青皮	大皂	香薷	薄荷	砂仁	燈草	天花	寄生	牛膝	杜仲	秦艸	蔓荊	紫花	天門	胡荽	車前	草薺	酸棗	枳殼	茯苓	三棱	白芍	益智	葛花	艾蘇	良姜	茴香	延胡	蘿蔔	旋覆	葶藶	沈香	細辛	訶子	馬兜	青木	皂角	常山	黑丑	川烏	五靈	海金	薤麥	地榆	槐花	艾葉	吳茱	枳殼	石斛	枳殼	檀香	廣茂	澄茄	破骨	牽牛	續斷	藜蘆	高陸	赤豆	澤漆	郁李	射干	乾漆	乳香	沒藥	李根	豆豉	小豆	淡豆	鹿茸	天雄	肉桂	皂版	青蒿	苦梗	芫花	小薊	藕節	槐角	柏葉	椿根	牡蛎	菊花	釣藤	羚羊	犀角	沙參	花柳	榮解	兔絲	蛤粉	龍骨	芡實	蓮菰	杞子	巴戟	川棟	石菖	琥珀	彈退	佛耳	菝葜	木賊	甘節	黑豆	琥珀	川棟	茯苓	鼠粘	佛耳	菝葜	木賊	管仲	草次	密蒙	菝葜	木賊	威靈	馬勃	馬牙	全蝎	土硫	海桐	百部	鬱金	不定	骨碎	山甲	韭白	荔枝	青塩	金鈴	單澄	馬鞭	沢蘭	益母	貫仲	蓮菰	辛夷	白葵	香茅
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

宗伯遠墨備述之書

宗伯遠墨備述之書
 此書諸般諸本局及地味と改訂の如く之書あり
 宗伯遠墨備述之書
 此書諸般諸本局及地味と改訂の如く之書あり

文政九丙戌年

三月廿二日... 宗伯遠墨備述之書
 三月廿二日... 宗伯遠墨備述之書
 三月廿二日... 宗伯遠墨備述之書

宗伯遠墨備述之書

今般般般... 宗伯遠墨備述之書
 今般般般... 宗伯遠墨備述之書
 今般般般... 宗伯遠墨備述之書

龍坂宗伯

文政五年甲午正月宗伯

宗伯遠墨備述之書
 宗伯遠墨備述之書
 宗伯遠墨備述之書

一二年... 宗伯遠墨備述之書
 一二年... 宗伯遠墨備述之書
 一二年... 宗伯遠墨備述之書

是

田... 宗伯遠墨備述之書
 田... 宗伯遠墨備述之書
 田... 宗伯遠墨備述之書

宗伯送墨備遠志之書

宗伯送墨備遠志之書
此書清後清太厚及地博之要所の如之書也

宗伯送墨備遠志之書
此書清後清太厚及地博之要所の如之書也

神龜	遠志	蘇葉	腹皮	玄參	香薷	天花	秦九	胡荽	栝柳
連翹	蘇木	木瓜	石膏	地骨	薄荷	寄生	蔓荊	車前	茯苓
通草	竹茹	香茹	荆芥	青皮	砂仁	牛膝	紫花	草薺	三核
藜蘆	薄荷	覆香	牛蒡	大皂	燈草	杜仲	天門	酸棗	白屑
甘節	鼠粘	草芥	荒蔚	威靈	土蘇	不定	荔枝	馬鞭	蓮莖
黑豆	佛耳	密蒙	馬勃	海帶	海桐	骨碎	青瑤	沃蘭	辛夷
蠶退	荻荷	木賊	馬牙	百部	山甲	五加	金鈴	益母	白葵
辣桂			全蝎	鬱金	韭白	何首	車澄	貫仲	香葉

文政九丙戌年

三月廿三日... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也...

但借地... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也...

今取物... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也...

文政五年甲午正月宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也... 宗伯送墨備遠志之書... 此書清後清太厚及地博之要所の如之書也...



大父及 考妣之遺墨數十通初在 伯兄羅文君書箱中

君嘗惜字紙最敦矣生平親戚朋友來翰隨得隨藏積而

至於數百通者實政壬子肇秋係字地魚之災然幸而晚秦

火者為不劫矣伯兄沒後余紹而藏弄有年矣但懼其久而

喪之曩纂次以成帖者三卷上自 曾祖唯稱君詠草下

至外戚通家文署項又拾其遺以為二卷是他唯稱君書寫

日氏之尼可你它羅文君甲府道中記非皆更數十百韻字

小人窮スルニシテシニ遊ト 倫語ニ有
 老子曰大道廢有仁義智惠出
 有大偽
 智者知也愚者察也以其有知有察
 此大偽所以生也
 不幸而又有小智小惠者六韜仁義而
 行之則偽自此滋亂自此始
 七又凡世之偽をばらきりてあきて
 七又の或し偽しきりて一偽のやふひはま
 居る小まきりて一人一月かまはれ
 今くはやくん

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 一 後金子 | 一 緑茶 | 一 地層 |
| 一 並 | 一 草花 | 一 車前子 |
| 一 蒼耳 | 一 胡椒 | 一 何首烏 |
| 一 苗香糖 | 一 胡桃 | 一 枳 |
| 一 天蓼 | 一 槐 | 一 公倍子 |
| 一 石蜜 | 一 藜 | 一 杏 |
| 一 藜 | 一 藜 | 一 苦草 |
| 一 皂角子 | 一 土茯苓 | 一 皂莢 |
| 一 虎耳草 | 一 胡椒 | 一 百部 |
| 一 蒜 | 一 白芥子 | 一 葱 |
| 一 桔 | 一 次食 | 一 蜀黍 |
| 一 麦 | 一 木子 | 一 紫蘇 |
| 一 酸水 | 一 醋 | 一 酸味 |
| 一 卷石 | 一 阿膠 | 一 胡黃連 |
| 一 五加木 | 一 獨活 | 一 豐稷 |
| 一 南燭 | 一 梨 | 一 菘 |
| 一 東 | 一 山茶 | 一 甘肅 |
| 一 紫芋 | 一 薏苡 | 一 香椒 |
| 一 咽喉 | 一 温存 | 一 菽 |
| 一 嬰粟子 | 一 海狗 | 一 昆布 |
| 一 茶研 | 一 硝子 | 一 樟腦 |
| 一 脆岩 | 一 寸竹 | 一 烏 |
| 一 貫珠 | 一 胡椒 | 一 海狗 |
| 一 冬 | 一 海狗 | 一 烏 |

一 明喉 一 温存 一 款 豆曰

一 野栗子 一 海椒 一 昆布

一 茶研 一 硝子 一 樟腦

一 脆岩 一 寸竹 十二間ノ知

一 箕登 一 胡椒 一 鳥次

一 冬丸 一 稚海草 一 赤節竹

一 白膠木 一 隆折 羅波

一 唐土 一 白膠木 ト云 又 勝軍木 ト

一 日本 一 天木 ト云 奴留 天木 ト云

一 癰疽 一 癰ハハラマニ 腹内ノ癰腫病

一 積聚 一 癰腫ニハ 赤節竹ニ 浸シ

一 報海草 一 海草ノ 一種

一 石ナリト云 一 宛間ヲ置テ七枚

一 石ナリト云 一 宛間ヲ置テ七枚

一 臍 一 コレタリ 痲肥

一 臍 一 コレタリ 痲肥

